

# 由利

立教187年

令和6年

10 月 号



## 全教一斉にをいかけデー

九月

一ヶ月間の主な歩み

一六日 クリーンデイYURI  
一八日 北蒲原分教会霊祭  
一九日 北蒲原分教会月次祭  
二二日 大教会月次祭  
二三日 由利分教会霊祭  
二六日 御本部月次祭、由利婦人会  
二七日～三十日 役員当番、役員会議  
二八日～三十日 全教一斉にをいかけデー

十月

三日 支部例会(岩谷分教会、13時)  
五日～一日 大祭巡教  
五日 お願いとめ  
七日 おさづけ取次日  
一二日 会長、理事会議  
一三日 由利分教会大祭

## 今日の言葉

由利分教会長

佐々木 正 明

今月十月は、立教の大祭の月ですが、天保九年十月二十六日に教祖が月日の社になられてから教祖の五十年のひながたの道が始まったわけですが、今月の言葉は、山本利雄著“いのち”の中の“教祖の最後の御苦勞”を抜粋して紹介させて頂きたいと思います。

## 最後の御苦勞

こうして、教祖八九歳の時、迫害はその頂点に達し、天理教者が永遠に忘れることのできない最後の御苦勞を下さったのだった。時に、一八八六年陰暦正月十五日のことであった。信者が大勢参詣して、てをどり“を練習していると、巡查が三名やってくる。信者を追っ払い、教祖を機本にある監獄所へお連れした。その

ところで教祖は、たった着物三枚で、何一つ召し上がることなく、信者が差し入れる白湯だけを飲んで過ごされた。

この冬は、三〇年来の寒さであった。夜、お寝みの時間がくると、冷たい板の間で、ご自分の履物に、付き添いのひさの帯を巻きつけて、それを枕の代わりにして寝ました。そこを、格子戸のすき間を通して、吹雪がふき抜けてゆく。当時、教祖の娘で、梶本に嫁いだはるの娘ひさが、付き添いとして、一緒に監獄で苦勞をした。この、ひさが、一九二五年に天理教婦人会総会において、「雛型の道」と題して、涙ながらに最後の御苦勞の有様を講演している。その一節を紹介して、教祖の最後の御苦勞の様子を偲んでみよう。

「警察署は、何れも板の間でありまして、その板の間の隙間より、その寒いこと、冷えることは、口にも述べられません。その所で御教祖様は、十五日間は、殊に寒い時分で雪

は大変降りまして、西から寒い風が吹き込みます。それに、如何程寒くても御手を温めになる火とでもありません。夜分おやすみの時は、一枚の夜具もありませんから、着物三枚お召しの所一枚お脱ぎ遊ばして、夜具の代りに致しました。又枕とても別にありませんでしたから、勿体ない事では、御座いまするが、止むを得ず、御教祖様の下駄に私の帯を巻いて、枕と遊ばして御やすみ下されたのであります。

尚ほ、恐れ多くも咎人の待遇でありますから、警察の方より持つて来て下さる弁当は、御教祖は一寸も御あがり遊ばれませんので、私は始め三日程、三度乍ら、梶本の家へ食べにやってもらひ、御教祖様の平素おあがり遊ばす様なものをたとえ一口でも召し上がって頂いたらと思ひまして、貰って行きました。御あげ申さうと致しましたが、それをみつけられて、大層叱られました。それより、私も食べに出して、貰う事が出

来ぬ様になりました、弁当を家より入れて頂く事になりました。

(次号に続く)

## あゆみの家二〇四号室

### 信者宿泊室として使用開始

当教会教職舎“あゆみの家”は、お陰様で主に教会につながる方々が宿泊され使用して頂いておりますが、二階の二〇四号室は、フリーに使える部屋として、特に手を加えない状態で開けておりました。



しかしながら、今後改式されている信者さん宅の年祭等を執行する場合、その御家族の自宅は県内になく関東方面等にあり、年祭を執行する場合は、ホテルを予約して泊まらざるを得ないというケースが出てくる事が予想されるようになりました。

又部内の利の宮分教会を始め、遠方の信者さん方が大祭等に参拝に来られ、宿泊される事もこれまでと同様に考えられます。

そのような方々に快適に宿泊頂けるように、この度“信者宿泊室”として同二〇四号室にエアコンを設置し、ベッド、テレビ等も備えた部屋を用意させて頂きました。

事前に御連絡頂ければ、宿泊の準備もさせて頂きますので、お気軽に御使用頂きますようお願い申し上げます。“信者宿泊室”設置のご案内とさせて頂きます。

## 先人の御遺徳を忍び

### 由利分教会秋季御霊祭執行

九月二十三日(月)、朝づとめ後より、御霊祭をおこないました。早朝にかかわらずご参拝頂き、誠にありがとうございました。

## 年祭活動に熱いを 由利支部にいがけデー実施

九月二十八日～三十日までの三日間、由利道、矢島町、由利分教会を会場に、にいをいがけデーを実施させて頂きました。

支部内の会長さん達を中心に、神名流しや路傍講演、パンフレット配りをおこないました。残暑に負けずに勇んでにいをいがけさせて頂きました。



## これからの行事

### 第三回 よつぽく一斉活動日

日時 十一月三日(日)  
午後一時 受付、一時半 開始  
参加費 三百円  
内容 おつとめ、諭達拝読、映像視聴、元の理。パネルシアター

11月祭典役割表

神殿講話 利の宮分教会長

開扉・献饌の男子の方は**十時**まで、女子の方は、**十時二十分**までおつとめ着を着用し、神殿にご集合下さい。

ておどり										会 長	祭 主
地方(主)	地方(副)	笛	チャンポン	拍子木	太鼓	すりがね	小鼓	琴	三味線	胡弓	属者
東滝沢	齋藤清一	利翔布	仁賀保	雄物川	由利東布	佐々木由明	仁賀保	木内教子	小松敬子	小川道子	賛者
雄物川	佐々木義實	小林大晃	齋藤賢爾	木内正信	豊島栄二	豊島優	斎藤清一	中村柳子	齋藤美和子	豊島末子	指図方
上之浜	豊島栄二	豊島優	小野繁樹	齋藤清一	桑原廣	伊藤一男	東滝沢	小川昭子	木内美歩	畠山清香	
木内正信	小林大晃	佐々木良美	佐々木由正	伊藤奈律子	矢島町	会長夫人	会利道長	亀田町	東滝沢	坐りづとめ	
亀田町	由利道長	上之浜	由利東布	雄物川	佐々木義實	小林大晃	齋藤賢爾	木内正信	豊島栄二	斎藤清一	
伊藤奈律子	松田理奈	佐々木めぐみ	小林理英子	亀田町	豊島絢子	小川貴美子	佐々木良美	佐々木由正	伊藤一男	東滝沢	
後半	由利道	前半	豊島栄二	斎藤清一	豊島末子	中村柳子	齋藤美和子	豊島末子	小川昭子	木内美歩	

部内だより

矢島町分教会

二十九日の全教一斉にをいがけデーには、矢島町へ十七名（そのうち子供四名）が来てくれました。

町の声、天理教もこんなに？人がいるんだねと、驚いていました。

由利道分教会

由利道、にをいがけデー、三日間、じじ、ばば、娘、孫とにをいがけに歩かせてもらいました。

十五日会長が教誨師東北ブロック研修秋田大会に参加致します。